

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年1月13日(2005.1.13)

【公表番号】特表2000-511230(P2000-511230A)

【公表日】平成12年8月29日(2000.8.29)

【出願番号】特願平9-542989

【国際特許分類第7版】

C 1 1 C 3/12

A 2 3 D 9/00

C 1 1 B 7/00

【F I】

C 1 1 C 3/12

A 2 3 D 9/00 5 0 6

C 1 1 B 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成16年5月11日(2004.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手続補正書

平成16年5月11日

特許庁長官 殿

## 1. 事件の表示

平成9年特許願第542989号

## 2. 補正をする者

名 称 カーギル, インコーポレーテッド

## 3. 代理人

住 所 東京都港区虎ノ門1丁目17番1号

虎ノ門5森ビル3階

電話番号 03 (3503) 8637

氏 名 (9109) 弁理士 平木 祐輔



## 4. 補正対象書類名

請求の範囲

方 式 査 審



## 5. 補正対象項目名

請求の範囲

## 6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正します。



[別紙]

請求の範囲

1. 添加酸化防止剤の不在下にて、約 30℃よりも高い MDP、約 36%以下のトランス脂肪酸含量、約 68～約 75 の IV および約 280 時間の最小 AOM 値を有する、水素化されたカノラ油。
2. 添加酸化防止剤の不在下にて、約 20℃未満の MDP、約 31%以下のトランス脂肪酸含量、約 72～約 77 の IV および約 290 時間の最小 AOM 値を有する、水素化され分画されたカノラ油。
3. 添加酸化防止剤の不在下にて、約 30℃よりも高い MDP、約 36%以下のトランス脂肪酸含量、約 68～約 75 の IV および約 280 時間の最小 AOM 値を有する水素化されたカノラ油であって、約 72%～約 80%のオレイン酸含量、約 5 %～約 12%のリノール酸含量および約 1 %～約 5 %の $\alpha$ -リノレン酸含量からなる脂肪酸プロフィールを有する Brassicaceae 種子から抽出される出発油から製造される前記水素化カノラ油。
4. 添加酸化防止剤の不在下にて、約 30℃よりも高い MDP、約 40%以下のトランス脂肪酸含量、約 68～約 77 の IV、約 80%以上の総 C18:1 含量および約 300 時間の最小 AOM 値を有する、水素化されたカノラ油。
5. 添加酸化防止剤の不在下にて、約 20℃未満の MDP、約 40%以下のトランス脂肪酸含量、約 75～約 81 の IV、約 86%以上の総 C18:1 脂肪酸含量および約 350 時間の最小 AOM 値を有する、水素化され分画されたカノラ油。
6. 添加酸化防止剤の不在下にて、約 30℃よりも高い MDP、約 40%以下のトランス脂肪酸含量、約 68～約 77 の IV、約 80%以上の総 C18:1 脂肪酸含量および約 300 時間の最小 AOM 値を有する水素化されたカノラ油であって、約 80%～約 87%のオレイン酸含量、約 2 %～約 5 %のリノール酸含量および約 1 %～約 4 %の $\alpha$ -リノレン酸含量からなる脂肪酸プロフィールを有する Brassicaceae 種子から抽出される出発油から製造される前記水素化カノラ油。
7. カノラ油を製造する方法であって、(a) 約 72%～約 80%のオレイン酸含量、約 5 %～約 12%のリノール酸含量および約 1 %～約 5 %の $\alpha$ -リノレン酸含量

を有する、精製され漂白された未水素化出発カノラ油を用意する工程、および  
(b) 該出発油を IV が約 68～約 75 となるよう水素化し、添加酸化防止剤の不在下にて、約 30℃よりも高い MDP、約 36%以下のトランス脂肪酸含量および約 280 時間の最小 AOM 値を有する水素化油を得る工程を含む前記方法。

8. カノラ油を製造する方法であって、(a) 約 80%～約 87%のオレイン酸含量、約 2%～約 5%のリノール酸含量および約 1%～約 4%の $\alpha$ -リノレン酸含量を有する、精製され漂白された未水素化出発カノラ油を用意する工程、および  
(b) 該出発油を IV が約 68～約 77 となるよう水素化し、添加酸化防止剤の不在下にて、約 30℃よりも高い MDP、約 40%以下のトランス脂肪酸含量および約 300 時間の最小 AOM 値を有する水素化油を得る工程を含む前記方法。